

志小安全・防災だより



H30.11.12 No.30
安全・防災担当:早坂 潤

8月から始まった仮設住宅解体工事が進んでいます

朝に大きなトラックが、仮設住宅に取り付けられていたサッシ等の金属部品を積んで学校前の坂を下っていきます。お盆前に工事開始の表示板が掲げられ、仮設住宅の周りに防音布が貼られてから、3ヶ月に入ろうとしている現在、重機による建物の取り崩しが始まっています。工事現場から響いてくる振動や重機で建物を壊す音が一段と大きくなりました。数日前までは、防災布で囲まれた向こう側にはアンテナが何本も見えていましたが、今ではアンテナの数が日ごとに減ってきています。志津川小学校のグラウンドにある仮設住宅は、平成23年4月に建てられたことを聞かされましたが、震災から7年半以上が過ぎた今、一棟一棟が姿を消し始めています。残っている建物も枠組みだけが残った倉庫のようです。この解体作業と重なるように、学校のプール脇にある当時の放課後児童クラブの仮設撤去作業が始まります。



工事現場には、仮設住宅を取り崩した跡が写真のような形になっています。今はあまりよい光景ではありませんが、3月までには校庭がしっかり整備されます。



7日は朝からクマ騒動で学校周辺は騒然となりました！

朝の6時30分頃に役場の広報でクマの出没が報じられました。学区内の上の山に出没ということで、学校職員だけでなく警察や保護者、地域の方々の送迎や見守りをさせていただいたお陰で、子どもたちも安全な登校を行うことができました。クマを見かけ、役場に通報した方の話によるとクマの大きさは50~60センチメートルくらいの小さめのクマだったそうです。初めは犬と格闘していたらしいのですが、途中からどちらも逃げだし、クマは上の山の上に上がっていったとのことでした。その後の情報はありませんでしたが、これからクマだけでなく、他の動物も雪が降る前に食べ物探しに人里に降りてくることが多くなることでしょう。子どもたちにも気を付けるように呼び掛けていきます。いつもお世話になっている「くろしお見守り隊」の皆様には、この日の持久走大会や放課後も子どもたちの下校を見守っていただき、どうもありがとうございました。その後は大丈夫のようです。

※ 南三陸町広報でも流れていましたが、11月9日から15日まで、全国一斉に秋の火災予防運動が行われています。学校では14日に火災を想定した避難訓練を行い、子どもたちの防災・安全への意識をさらに高めていきます。いざというときの備えの大切さもしっかりと教え、「自分の命は自分で守る」ことの大切さも、しっかり伝えていきたいと思えます。